

## 短日処理がヤマジノギクの開花・品質に及ぼす影響

石松敏樹<sup>1)</sup>・力徳昌史・西村和明(大分県温泉熱花き研究指導センター・<sup>1)</sup>三重農業改良普及センター)Toshiki ISHIMATSU, Masashi RIKITOKU and Kazuaki NISHIMURA: Effects of Short-day Treatment on Flowering and the Quality of Cut Flowers of *Heteropappus hispidus* Less

ヤマジノギク‘TOYOロマン’の自然開花期は11月上旬であるが、電照栽培により開花抑制が可能であるため、11月上旬以降の作型は確立されている。そこで、これ以前の出荷作型を確立するため、短日処理が開花、品質に及ぼす影響について検討したので、その結果を報告する。

## 1. 試験方法

試験1: 定植時期及び短日処理の開始時期の検討品種‘TOYOロマン’を供試し、1992年5月20日、6月5日、6月20日にそれぞれ定植した。短日処理はその開始時期を7月15日、7月25日、8月5日とし、対照区として自然日長区を設け、各定植日ごとにこれらの短日処理を行ない処理時間は18:00~翌朝7:00までとした。摘心は15日後に行ない、1株3本仕立てとした。また、栽植距離は株間10cm、条間40cmとした。

試験2: 短日処理の終了時期の検討

品種‘TOYOロマン’を供試し、1993年6月10日に定植し、6月24日と7月17日の2回摘心し、1株9本に整枝した。また、栽植距離は株間20cm、条間40cmとした。試験区は短日処理の開始時期を8月1日とし、終了時期を9月15日、9月5日、8月25日、8月15日の4処理とした。その他の短日処理方法は試験1と同様に行った。

## 2. 結果及び考察

試験1: 定植日を早めることにより、切花長、切花重、

節数、茎径、着花数が増加した。しかし、5月20日、6月5日定植は生育が旺盛であるため、上部の枝が混み合い、茎が軟弱となり、枝が倒れ、草姿が著しく乱れた。また、80cmの切り花を目標とする場合、5月20日、6月5日定植は、3、4次分枝の長さが長すぎ、バランスに欠ける切り花となった。定植日の違いによる開花期の差はほとんどないことから、定植日は6月20日が最も良いと考えられた。短日処理の開始時期を早めると、早い時期に着蕾するものの、その後の発達が遅れ、採花日にほとんど差がなかった。また、シェード栽培を行うと花径が小さくなり、花色が淡くなった。

試験2: 短日処理の終了時期を早めると、ボリュームは出るが、開花が遅くなった。特に8月15日に終了すると、自然日長下での採花時期とほとんど変わらなかった。9月15日終了区は切り花が若干軟弱となる傾向を示した。9月5日終了区が開花の早さ、切り花形質からみて優れる結果となった。

以上のことから、‘TOYOロマン’を用いたシェード栽培では、10月上旬以前の出荷は、開花が揃わず、困難である。また、10月中旬出荷を目標とした場合には、定植を6月中旬に行い、短日処理の開始時期を8月上旬、終了時期を9月上旬とするのがよいと考えられた。

第1表 切花形質(試験1)

定植日	短日処理期間	採花日 <sup>a)</sup>	切花長	花房幅 <sup>b)</sup>	切花重	2次分枝数	節数	花径	着花数	下垂度 <sup>c)</sup>
5月20日	7.15~9.15	10月7日	117.6cm	24.9cm	119.3g	4.7本	80.7節	29.6mm	42.6個	4.0
6.5	7.15~9.15	10.11	100.5	22.3	91.1	5.0	70.2	30.4	47.4	3.0
6.20	7.15~9.15	10.12	93.1	21.5	71.9	4.1	56.5	31.0	38.2	2.1
5.20	7.25~9.15	10.9	120.8	25.1	136.9	4.2	75.3	31.3	52.8	4.2
6.5	7.25~9.15	10.11	113.4	23.1	108.8	4.6	68.1	31.3	49.4	3.6
6.20	7.25~9.15	10.11	100.6	22.3	79.5	4.4	57.9	32.2	42.3	2.4
5.20	8.5~9.15	10.8	121.5	23.5	128.9	4.5	75.4	32.3	51.1	3.5
6.5	8.5~9.15	10.9	108.5	20.2	84.4	3.8	67.2	32.1	38.5	2.3
6.20	8.5~9.15	10.14	96.3	20.2	58.1	3.9	58.4	32.3	35.7	2.3
5.20	自然日長	11.2	131.5	25.0	164.6	4.0	92.7	38.2	44.5	2.9
6.5	自然日長	11.2	131.4	23.8	155.8	3.7	90.5	38.2	49.3	2.5
6.20	自然日長	11.3	111.3	20.4	85.8	3.1	70.8	38.3	30.8	2.5

注) a) 2次分枝1本当たり2~3輪開花した日 b) 切花の最も幅の広い部分  
 ち、向きを変えて2回測定した平均値 1=10° 2=20° 3=30° 4=40° c) 切花の2次分枝発生位置を水平に保

第2表 切花形質(試験2)

短日処理期間	採花日	切花長	花房幅	切花重	3次分枝数	節数	花径	着花数	下垂度
	月・日	cm	cm	g	本	節	mm	個	
8.1~9.15	10.13	84.5	19.3	47.7	5.4	64.5	34.1	15.8	1.5
8.1~9.5	10.16	94.6	20.7	58.5	5.4	65.8	34.6	16.2	1.0
8.1~8.25	10.20	108.9	24.6	73.1	5.6	75.8	36.6	18.9	1.0
8.1~8.15	11.1	112.7	22.5	72.6	4.0	80.9	40.1	21.9	1.3